

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
32023	X-21-B-2-320234	1	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	2年	
中国語 3b	姜 杰裕			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×			
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			

授業目的

今までに学んだ中国語を基礎にして、単語の範囲を更に広げ、補語、助動詞、副詞等の文法を習得する。日常会話がイントネーションを留意しより流暢にでき、短い作文を理解し、書けるように相応な語学運用能力を身に付ける。

各回毎の授業内容

第1回

【授】 “了”の用法、連動文
【前・後】 付属のCD・DVDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。

第2回

【授】 進行を表す“在”、“了”の用法、未来を表す表現
【前・後】 事前に、付属のCD・DVDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習する。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く予習復習に4時間。

第3回

【授】 “了”、“更”と“最”、“可能”の用法
【前・後】 付属のCD・DVDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。問題を解く。予習復習に4時間。

第4回

【授】 復習・小テスト
【前・後】 ここまでの学習内容を総復習する。付属CDを利用して新出単語をの発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。予習復習に4時間。

第5回

【授】 “过”、“会”、“了”の用法、仮定を表す表現、分離動詞
【前・後】 付属のCDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習4時間

第6回

【授】 存現文、同一・類似を表す表現、強調を表す“是”、逆接
【前・後】 付属CDwo 利用して新出単語を音読練習と書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には学習内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習四時間。

第7回

【授】 “着”の使い方について
【前・後】 付属のCDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。

第8回

【授】 結果補語、“再”の用法について
【前・後】 付属のCDを利用して新出単語の発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。練習問題を解く。予習復習に4時間。

第9回

【授】 復習

【前・後】 ここまでの学習内容を総復習する（付属CD・DVDを利用して）。学習時間4時間。

第10回

【授】 小テスト（筆記・口頭・リスニング）
【前・後】 付属のCD・DVDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの学習内容を総復習する。指摘された問題点をまとめ、次ぎの学習に備える。試験問題をもう一度解いてくる。学習に4時間。

第11回

【授】 数量補語、程度補語、結果補語
【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行い、文法を予習しておく。事後には、授業内容を復習し、本文を暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。

第12回

【授】 数量補語、程度補語、結果補語
【前・後】 事前に、付属のCDを利用して本文の発音練習、書き取りを行い、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、音読練習を繰り返す。予習復習に4時間。

第13回

【授】 補語のまとめ、前置詞のまとめ
【前・後】 事前に、ここまで習った補語と前置詞をまとめて、使い方を復習を行う（例文を重点をおいて復習する）。音読練習を行う。予習復習に4時間。

第14回

【授】 総復習・作文指導
【前・後】 今学期でここまでの学習内容の総復習を行う。会話文に頻出日常生活用語をすぐに口から出るように覚えておく。予習復習に4時間。

第15回

【授】 期末試験
【前・後】 ここまでの授業内容の総復習を行う。予習復習に4時間。

第16回

【授】 レポート
【前・後】 これまで習った文法や単語を用いて、規定テーマで中国語の文章を作成する。予習復習に4時間。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							40
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							20
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

成績は試験と授業参加態度、発表、レポートにより総合的に評価する。会話練習は毎回実施する。試験後にテストの内容について解説し、問題点を指摘する。提出したレポートは添削してから返す、質疑応答する。

教科書参考書

『理香と王麗一話す中国語2-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）

受講に当たっての留意事項

中日辞典（紙媒体の辞典ないし電子辞書）を必ず持参すること。
授業は実情により予定内容を調整することがある。

学習到達目標

中国語で簡単な日常的な会話が流暢に話せ、簡単な作文ができるようになる。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習